CANADA留学を終えて

コミュニケーションの基本の重要性を実感する日々　　清水久美子

いきなりですが、ごめんなさい。10月3日から始まる渋谷のアートプロジェクトの準備で、学校に5泊6日、渋谷で2徹して、決してゆっくりと文章をかける状態でなかったのです。ヴェネチアでの2週間特別研究プロジェクトに参加して帰ってきた瞬間、こっちの準備が忙しくなってしまって･･･やっぱり、イタリア行く前にMichiと会ったのは本当に奇跡だったのですね。

この通り、私は毎日毎日飛び回っています。大学に入ってから、家でダラダラして過ごす、ということがほとんどありません。学校のある日の6割は終電で帰るような生活です。でも毎日が楽しくて仕方ない。

留学のきっかけは心配症と根拠のない自信という、相反する二つの感情でした。当時の私の関心は建築と心理学で、大学選びの際どちらかを選択する必要がありました。しかし、今までやってきていない分野について決断を下すことは容易ではありません。もし選択した方が自分に向いていなかったら･･･選択によっては、付属大学でないところを受験しなくては･･･そもそもいきなり大学で専攻してやっていけるのか･･･そんなことを考えていると、高校に通い続ける意義を見失ってしまいました。

そんな時、Michiの紹介でイギリスの高校にサマースクールに参加し、海外の高校は、多岐にわたる分野がわりと専門的に高校で学べ、いろいろ試したのち自分にあっているものを大学で専攻する、というシステムであることを知りました。それを知った瞬間、うまくいくかもわからないくせに、留学するしかないという根拠のない強い思いが生まれました。

英語が話せるようになることは大きな手段になりますが、目標や目的にするべきではないというのが私の考えです。その気になれば大人になってからも十分間に合うし、ほとんど誰でも2年で話せるようになっています。英語を公用語としない日本人である以上、日常会話がぺらぺらでも意味はなく、「英語で何を話すか」が重要になるのではないでしょうか。その場合、英語に価値があるわけではなく中身がその価値を決めることになります。

二年間の私の長く短い留学体験は「英語を話す」ことそのものより、その行為に付随した付加価値に注目することによってより深いものとなりました。良くも悪くも私は頑固だったので、カナダにいって自分が生まれ変わるような体験をしたわけではありませんでした。しかし、多くの自己発見の連続でした。というのも、自称理系の私は英語が超苦手で、stock wordsがないのでいちいち考えて話す必要がありました。そのおかげで、日本語では考えずに言える小さいことでも、いちいち自分が何をどう考えているのかを客観的に自覚することができたのです。

自分がどういう人間かがわかると、今度は他人がどうなのかが気になります。プロジェクトを通じて毎回多くの人と出会いますが、その人の価値基準を理解し尊敬するというコミュニケーションの基本の重要性を実感する日々です。自分の価値基準を知ってそれとうまくつきあっていけるようになったことが、今の私の大きな武器であり、原動力となっています。

知っていると便利な英語マナー

オール・ラウンド「喜」の表現

この表現は、ホテル、レストラン、買い物のときは勿論、すべての公共場面でも使え、さらに、目上の人、上司にも使えるので、Thank youと併用して使うとよい。
サービスを受けて、いたく気に入ったとき、

I appreciate your kindness.「ご親切感謝いたします」
I appreciate your thoughtfulness.「お心遣いいたみいります」
**I appreciate /it/your helpとは言うが、I appreciate youとは言わない。

I owe you my deepest thanks/gratitude.「深く感謝しております」
**詫びるときは、I owe you an apology.「申し訳ない/ごめんなさい」

CANADA留学を終えて

コミュニケーションの重要性　　苗加野乃

カナダでの経験で非常に大切だと思ったことはコミュニケーションです。当たり前の事に思えますが、カナダに行って色々な体験をして、自分がコミュニケーションに対して消極的だったかを感じました。

私は高校1年の2月にカナダへ行き、ビクトリアの高校に通い始めました。多くの人は語学学校などに通ってから学校へ移動するのですが、私の場合はカナダに着いたらすぐに学校が始まってしまったので、最初の内は英語もまったく話せないまま通っていました。なので、授業の内容も宿題もほとんど理解できない状態でしたが、2ヶ月ほどすると会話が聞き取れるようになり授業の内容も理解出来てきました。また、英語が下手だったので話すのが恥ずかしいと思っていたけれど、授業でわからないことがあったら先生に積極的に聞くよう心がけると数学の先生は放課後残ってまで熱心に教えてくれました。そこで感じたことは、理解してなかったらしてないできちんと先生に伝える努力をすることが大切であり、聞けば親切な答えが返ってくるものだということです。

更に、私は7月の間はサマースクールに通いましたが、その申し込みの際に問題が発生してしまいましたがその時も自己主張する大切さを知りました。現地のエージェントに申し込みの事を頼んでいたのですが、解釈の違いで留学生用のサマースクールに申し込まれていました。それが分かり連絡を取ろうとしましたがエージェントの方が多忙だったためなかなか連絡を取れず、サマースクールのオフィスに直接電話をかけたりメールを送ったりしました。カナダに来てまだ半年もたっていなかったので英語は未熟でしたが、つたない英語でも説明し申し込み手順を教えてもらいました。その結果、無事サマースクールの申し込みが完了し通うことができたのですが、その時に自分の問題は自分から積極的に解決を試みないと物事は進展しないのだと感じました。

自分から働きかけないとレスポンスはない、逆に働きかければ予想以上のレスポンスがあるかもしれない、日本にいた時は両親に甘えてそういう当たり前の事を忘れていた気がします。日本に帰ってきてもその事は忘れずに生活に生かそうと思っています。

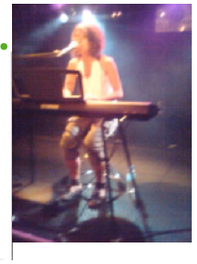
GERMANY留学を終えて

再びやってみようという気になれた　　根岸　幸

年に一度、オペラの公演に舞台スタッフとして参加していた。その理由は習いたいドイツ人演出家が演出するプロジェクトだったからだ。彼と知り合った年、彼が私にしたアドバイスは「英語をやれ」だった。その後短期の英国留学。そして二度目のプロジェクト参加。一度目にも感じていた日本舞台世界の空気の悪さに自分の未来は暗黒化････。疲れた自分は夢を諦め最後に自分がかつて「やる」そして「行く」と言っていたドイツ留学へ向かった。三度目のプロジェクトとかぶる二月から、ドイツでの留学生活が始まった。英国留学の経験もあり、留学準備は苦労も無く、不安も無く飛んだ。独学でやっていたドイツ語は思いのほか上級レベルへ。言葉で困ることは無く、人も優しかった。きっと運も良かったのだろう。たまたまPCで検索したその演出家の名前がいきなりヒット。一週間後に控えた彼のオペラの初演を見つけプレーメンまで。彼と話がしたいと劇場事務の人にメールし、「時間が無い」と断られた。彼との再会は偶然にも私がもう帰ろうと劇場の出口へと歩いている時、たまたま舞台袖への扉から彼が出てきた時だった。そこで得たのは彼からの歓迎の言葉とその次の週からケルン音大で講義があるという情報。ドイツ人に混じっての授業は異世界、それでも多くを学び、五月、彼が例のオペラプロジェクトのため日本へ行く時は私にケルン劇場で舞台を学ぶ機会を与えてくれた。六ヶ月のドイツ留学はあまりに短く、学ぶことは多かった。そして、ドイツで得たものは今日本でも生きている。舞台をやってみないか?といわれ、再びやってみようという気になれた。今そういう気になれる事と、そういう機会が得れたこ事を思うと、ドイツに行ってよかったと思う。

ENGLAND留学を終えて

篠遠恵美



"How are you grandma?"と出会い頭に声を掛けられ、英会話のお勉強歴、数十年の祖母が一瞬戸惑う日頃で御座いますが、先日はライブ・ハウスに案内され、舞台の端のピアノを弾きながら、自作の歌を唄う恵美の姿を見まして、何故かジーンと胸に来てしまいました。「今日は私の歌を聴く為に此処に来て頂いて有難う御座います。私の歌は経験もありますが、すべて想像で書いて居ます。後でお時間が有りましたら、批評など聞かせて頂ければ嬉しいと思います。」良いお友達と周囲の方々に見守られながら、今後の恵美の成長を楽しみにして居ります。　　篠遠華子（恵美の祖母）

New zealand便り

Dear Michi

地元のギャラリーで売れた
彼女の作品

今度の水曜日にWaikato大学の方に見学に行くつもりです。えりこさんがHamitonのほうへ行く用事があるらしいので、一緒に来てくれるそうです。これで少し肩の荷が軽くなったかな（笑）　美術の作品の写真一緒に送るね♪かなり楽しんで描きました☆今は、バイト先の知り合いが街中にアートギャラリーを持っていて、その人が私の作品を展示させてくれるらしく、そのためにいくつか仕上げてるところ。でも、その前に学校の美術のPortfolioに追われっぱなしです。この二週間の休みの間にでっかいボード二枚分の作品を仕上げなきゃいけなくてかなりパニックてます（笑）今回の休みは美術の宿題、大学めぐりとバイトで終わってしまいそう･･･。少しは羽目をはずして何かしようかとも思ってるんだけど、時間があるかな??　　☆近況報告☆　　坂上千明

父と子の留学プラン

父親として、非日常の世界を体験し、世界観を拡げることは、仕事にも家庭にもいい影響を与えると思う。その手段として、自分は「子どもと留学」をしてみたい。一人での留学もいいが、子どもと行くことで、異国の人とのコミニケーションの幅が広がり、色々な視点で物事を感じられるはずだ。子育てとは、その国の文化を顕著に表しているので、子どもと一緒にそれを肌で感じることは、大きな経験になる。そのため、一般的な「留学」ではなく、人と人との触れ合いの基盤の上に成り立っている「留学」を選ぶことが大切になる。その点で、荒川様のケアが行き届いていることは、とても重要な意味を持つと思う。ぜひ来年には、自分が実践してみることを目標とする。　　小嶋一弘

ジョーク

My wife is so neat she empties ashtrays even they are not used.
うちの女房はきれい好きなもんで、使わない前に灰皿を空にする。

He read about the bad effects of smoking and decided to stop reading.
タバコの害について読んだ男は、そんな記事を読むことをやめようと決意した。
**Stopの次ぎにsmokingという語が続くだろうという期待は見事に裏切られた。